◎献奏の諸先生方へ

一、献奏時間に遅刻の場合は最後に廻って頂きます。
一、献奏会場　西蓮寺　☎〇五九五一二一一〇四六七
一、宿泊先　サンピア伊賀　☎〇五九五一二四一七〇〇〇
三重県伊賀市西明寺二七五六一　〇四
一、世話人連絡先　樫森箏保　☎〇五九五一五九一二〇九六

大会世話人

総　務
〇樫森箏保

受付兼会計
〇武藤隆栄
〇中松界保
磯村琴保
野呂匠保
茂原知壽保

司会兼進行
〇森下匡保　西野笠保
〇酒井竹心　中田笏保
志村禅保　兼松劉保
清水露保
畑笙保

案内接待
〇山口真道
佐野八千保
橋口明道
吉岡里美
住友良英
白田克巳

会計監査
〇中松界保
椿本登葉

日　時　平成二十三年六月五日（日曜日）午前九時開始
会　場　天台宗真盛宗別各本山　西蓮寺
三重県伊賀市長田一九三一

明暗寺開山　第一二回
虚竹禅師奉讃　尺八本曲全国献奏大会

主　催　普化正宗総本山明暗寺
虚竹禅師奉讃会伊賀支部
後　援　伊賀市　伊賀市教育委員会
伊賀上野銀座商店街振興組合

御挨拶

時下新緑の好時節、道人諸先生には益々御清栄にて竹道発展の為に御精進の段、御同慶に存じ上げます。
扨て、今回は地元代表樫森箏保先生を始め各位の格別なる御骨折りにより、天台宗真盛宗別各本山西蓮寺に於いて、第一二回尺八本曲全国献奏大会を開催する事になりました。何卒、知人お誘い合わせの上、日頃の俗塵を払い、一日尺八本曲の真髄に心ゆくまで接する好縁を得られますれば幸甚かと存じます。
この段、御案内申し上げます。

平成二十三年五月吉日

明暗寺住職　平住仰山
虚竹禅師奉讃会理事長　酒井松道
明暗寺看首　児島抱庵
大会世話人代表　樫森箏保

◎午前九時　開始
開山諷経　総員献笛（調子・一尺八寸管調）

献奏曲並びに順位

一、虚空　滋賀　児島抱庵
二、艸噓鈴　三重　樫森箏保　愛知　陸奥鈴慕　京都　浅田渡山
三、紫乃曲　兵庫　岡田蓮風
四、鹿之遠音　徳島　清水露保
五、鳳鐸　香川　中岡宗栄　香川　平宗石　徳島　掛士宗祐　肥宗世
六、龍吟虚空　香川　山田宗元　三重　森下匡保　京都　高見宗華　糸瀬徹心　松下渓龍
七、虚空　三重　中津桂
八、霧海篋　和歌山　金山充山
九、龍吟虚空　大阪　柴田毫光
十、雲井曲　香川　中井宗鴻　愛知　河野宗憲　山田宗雄　八十川宗永
十一、噓鈴　和歌山　吉益童山
十二、黒髪鈴慕　京都　中村雅園　糸口雅萌　井口雅楓　山口雅裕
十三、松風　三重　寺田鳳憧　佐野龍憧
十四、虚空　和歌山　鮯谷鉄山
十五、大和鉢返調　宮城　宇都宮観龍
十六、艸霧海篋　愛知　野呂匠保
十七、三谷曲　和歌山　小澤覚道　奥田覚法　櫻根覚靖　小山覚泉　米田覚竜
十八、恋慕流［四段］　奈良　橋口明道
十九、鈴慕　徳島　兼松劉保
二十、門開曲　京都　林普水
二十一、神保三谷　徳島　中田笏保
二十二、霧海篋　広島　生田一心　岩崎尚心　高橋虚笛　道管宏太郎　岳普心心　米田心玉
二十三、獅子踊　奈良　佐野八千保
二十四、鳳鐸　兵庫　谷林白竜
写真撮影
二十五、越後三谷　徳島　西野笠保

二十六、虚空　京都　浅田渡山
二十七、陸奥鈴慕　愛知　茂原知壽保
二十八、鐸宇観　富山　黒田一水
二十九、志図曲　徳島　白田克巳
三十、吉野恋慕　徳島　吉岡里美
三十一、松風　大阪　東吹憧
三十二、阿宇観　京都　菊水湖風　柴田貴風
三十三、霧海篋　大阪　酒井竹心
三十四、如意　兵庫　上村風穴
三十五、虚空　大阪　泉川秀文
三十六、吾妻之曲　京都　倉橋容堂　ハウザー桂堂　中村良三
三十七、宮城野鈴慕　兵庫　池原白鳳
三十八、虚空　徳島　清水露保　住友良英
三十九、追慕頌　徳島　村上聖山
四十、阿宇観　兵庫　竹田峰憧
四十一、神保三谷　徳島　畑笙保
四十二、三谷菅垣　大阪　村上正治
四十三、鶴之巣籠　愛知　磯村琴保
四十四、手向　京都　中村雅園　出浦雅鳳　千原雅鳳
四十五、三谷　大阪　志村禅保

四十六、越天楽　上田芳僊作曲　大阪　上田芳誠　大阪　本田芳山　兵庫　上田佳光　大阪　和道　兵庫　柏原蘭山　大阪　森田隆道　千田寛道　京都　永田寛寿　奈良　胡内芳観　大阪　光久芳嵩　小谷秀和　滋賀　驚見芳寿　岡山　隈下伯童　東京　吹憧
四十七、噓鈴　京都　田中連月
四十八、虚鐸　東京　マウ吟竹
四十九、三谷　布袋軒　兵庫　山田玉道
五十、供養之御曲　神仏　大阪　中松界保
五十一、落葉　上田芳僊作曲　大阪　上田芳誠　大阪　積木眞璋
五十二、小夜砧　村治流　大阪　桐生登越　大阪　椿本登葉
五十三、神仏恭敬之御曲　蔡覚大師御作　大阪　酒井松道

終了